

『理論心理学研究』

Japanese Journal of Theoretical Psychology

投稿規程

- 1 本誌は日本理論心理学会の機関誌であって、年に1～数回発行する。
- 2 投稿論文の種類は、原著論文、萌芽的論考、展望論文、批評論文とする。
- 3 本誌に掲載される論文は未公開の論文とする。他の学会誌等との重複投稿を認めない。
- 4 投稿資格は本学会の正会員とする。連名の場合、筆頭著者が会員である場合に限り非会員の投稿を認める。
- 5 投稿論文と内容的に特に関係の深い同一著者による既公開論文がある場合は、その抜き刷りまたはコピーを3部添付すること。
- 6 原著論文は、①新理論または新たな原理的枠組みに向けての試論、②既存諸理論の比較・検討・修正・統合の試み、③心理学的理論の本質・機能・方法に関する論考、④心理学理論の構築・再編成に資する他領域理論の紹介とその心理学的含蓄についての解説、等とする。ただし、心理学理論の発展に寄与する意味合いが明確と認められるものについては、上述の範囲にとらわれず、広く審査の対象とする。

萌芽的論考は、本格的な理論的論考への発展が期待される論文とする。

展望論文は、重要なテーマについて内外諸理論を広く検討し、概観する論文とする。

批評論文は、掲載された論文を批評する論文とする。

これらの投稿論文は適正な審査を経て掲載に値すると判断されたのち掲載される。ただし、展望論文と批評論文は編集委員会からの依頼による場合があり、その場合は審査を省略することが出来る。

- 7 投稿論文の掲載の採否は、編集規程・投稿規定・投稿論文審査規程に従い、学問的価値の観点から編集委員会の責任において審査し決定する。
- 8 原著論文・萌芽的論考は、刷り上り10頁、本文19440字(図表・文献を含み、標題・著者名・所属・英文abstractは除く)以内とする。ただし、しかるべき理由があれば4頁(8640字)までの超過が認められるので、希望する際は理由書を添付のこと。

展望論文は、刷り上り12頁、本文25920字(図表・文献を含み、標題・著者名・所属・英文abstractは除く)以内とする。ただし、しかるべき理由があれば6頁(12960字)の超過が認められることがある。

いずれの論文も、超過を希望する際は理由書を添付のこと。なお、超過分の印刷費用は執筆者の自己負担とする。

- 9 原著論文・萌芽的論考・展望論文の投稿に際しては、
 - 1) 論文(図表、文献を含む本文)
 - 2) 200語程度の英文abstractおよび、3~5語の英文keywords
 - 3) 英文要約の邦訳

を各3部提出する。うち2部には、著者名、所属機関名を書かない。また英文abstractは投稿前に必ずしかるべき人の校閲を受けること。

- 10 批評論文は、刷り上り 2 頁、本文 4000 字(図表・文献を含み、標題・著者名・所属は除く)以内とする。原著論文・展望論文への論評は編集委員会の依頼により、当該原著論文と同時に掲載されることがある。
- 11 原著論文・萌芽的論考・展望論文・批評論文の執筆規程については別に定める。
- 12 原著論文・萌芽的論考・展望論文・批評論文の著者には別刷 20 部を贈呈し、それ以上は自己負担とする。
- 13 意見欄には、学会や機関誌のあり方に関する提言等を載せる。刷り上り 1 頁、本文(図表、文献を含む)1900 字以内とし、採否は編集委員会の責任において決定する。
- 14 本誌に投稿された論文の原稿は返却しない。
- 15 本規定は、編集委員会の議を経て、理事会の承認により改定することができる。